

令和5年4月21日

坂井市長 池田 禎孝 様

坂井市水道料金等検討委員会
委員長 浅沼 美忠



坂井市水道料金等について（答申）

令和4年11月24日付け坂上下第980号で、当検討委員会に対し諮問のありました坂井市水道料金等について、適正な水道料金等の料金水準や料金体系及び改定時期を慎重に審議を重ねた結果、検討委員会の意見をまとめましたので下記のとおり答申いたします。なお、留意されるべき事項を付帯意見として申し添えます。

記

1 料金の見直しについて

近年の人口減少により水道料金及び下水道使用料の収入が減少しているが、施設及び管路の老朽化に伴う更新や耐震化に多額の費用が必要となることから、水道事業及び公共下水道事業、農業集落排水事業の経営は厳しさを増している。財政収支の見通しでは、水道事業は資金の減少が続き、令和12年度には資金残高は不足となる。下水道事業は現在、企業債償還金のピークにあり、資金残高は令和9年度に不足する。そのため現状の料金体系のまま将来に渡り健全な経営を維持していくことは難しいと見込まれている。安全安心な水の供給、生活環境の改善、公共用水域の水質保全など安定した経営をしていくためには、適切な維持管理及び計画的な更新が必要不可欠であり、これらの財源確保のためには水道料金及び下水道使用料の値上げはやむを得ないと考える。

2 料金改定率

料金算定の基礎となる原価を集計し必要な改定率を計算した結果、改定率は平均20%とすることが妥当である。

水道料金及び下水道使用料（公衆浴場汚水を含む）の改定案を別表に示す。

3 料金体系

(1) 基本料金

現行の水道料金はメーター口径別に基本料金を設定している。水道メーターの口径に比例する水量を供給するには、その分多額の設備投資が必要となることから、口径に応じた基本料金を設定することが望ましいため、現在の料金体系を維持することが妥当である。

現行の下水道使用料の基本料金は一律に設定している。基本料金で賄うべき費用は、汚水排出量の大小に関係なく必要となり一律に設定することが望ましいため、現在の体系を維持することが妥当である。

(2) 従量料金

現行の水道料金は、1 m³あたりの料金が一律に設定されている。1 m³を浄水するために必要な費用は、使用水量の大小にかかわらず一定であり、従量料金は一律に設定することが望ましいため、現在の体系を維持することが妥当である。

現行の下水道使用料は排水量が多くなるにつれ1 m³あたりの料金単価が高くなるように設定されている。汚水処理量が大きいほど、大型の施設が必要となり、費用の増大の要因になることから使用者間の公平性を図るために、排水量に応じて料金単価を高く設定することが望ましいため、現在の料金体系を維持することが妥当である。

4 改定の時期

経営状況から判断すると早急に料金改定を行う必要があるが、改定にあたっては十分な周知期間をとることが必要であるため、市民への周知期間の確保を考慮し、改定日は令和6年4月1日とすることが妥当である。

5 付帯意見

(1) 低所得者等への対応について

昨今の急激な物価上昇等の社会情勢から住民生活に与える影響を考慮し、低所得者等に対する配慮を検討すること。

(2) 市民への周知について

上下水道事業の現状や水需要の動向、施設や管路の老朽化状況、今後の耐震化工事や更新事業等の必要性について、市民等に十分に説明し料金改定について理解を得ること。

(3) 基本水量について

現行の料金体系を維持するが、将来的には基本水量について検討が必要と考える。

(4) 今後の上下水道事業について

財源の確保のために、計画的な投資や費用対効果を考えながら、引き続き経営改善に向かう努力が必要と考える。

(別表)

料金及び使用料改定 (案)

水道料金

(税抜)

口径別	基本料金 (1月につき) 10 m ³ (基本水量) まで	従量料金 (1月につき)
13 mm	1,080円	10 m ³ (基本水量) を 超える水量1 m ³ につき 156円
20 mm	1,320円	
25 mm	1,440円	
30 mm	1,560円	
40 mm	1,680円	
50 mm	2,280円	
75 mm	2,520円	
100 mm	4,080円	
150 mm	4,080円	

下水道使用料

(税抜)

	基本料金 (1月につき)		従量料金	
	排除量	使用料	排除量	使用料 (1 m ³ 当 たり)
一般汚水	10 m ³ まで	1,320円	11~30 m ³ までの分	144円
			31~50 m ³ までの分	156円
			51~100 m ³ までの分	180円
			101 m ³ 以上	204円
公衆浴場 汚水	10 m ³ まで	1,320円	11 m ³ 以上	66円

検討委員会の開催状況

	期日	検討事項
第1回	令和4年11月24日(木)	諮問 上下水道の現状
第2回	令和5年1月18日(水)	上下水道事業の財政収支予測
第3回	令和5年3月1日(水)	料金体系の検討
現地視察	令和5年3月16日(木)	施設・設備の現地視察
第4回	令和5年4月5日(水)	料金表の確定 検討結果のまとめ

検討委員会名簿

(敬称略)

役職	氏名	所属	
委員長	浅沼 美忠	元福井県立大学経済学部教授	学識経験者
副委員長	南出 茂夫	税理士	学識経験者
委員	西畑 邦子	坂井市女性の会	代表推薦者
委員	盛政 隆治	坂井市商工会	代表推薦者
委員	北村 友美子	坂井市民生児童委員	代表推薦者
委員	小田原 幸浩	テクノポート福井企業協議会	代表推薦者
委員	鹿島 潤司	雄島地区まちづくり協議会	住民の代表
委員	高野 昌之	磯部地区まちづくり協議会	住民の代表
委員	佐藤 憲行	春江西部地区まちづくり協議会	住民の代表
委員	柏山 善英	兵庫地区まちづくり協議会	住民の代表